

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期中川町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道中川郡中川町

3 地域再生計画の区域

北海道中川郡中川町の全域

4 地域再生計画の目標

国勢調査によると、本町の人口は、1957年の7,337人をピークに、都市部への人口流出や少子高齢化により減少を続け、2015年には1,763人、2020年には1,528人となり、最も多かった人口の約5分の1となった。今後も社会全体の人口減少が続くと考えられており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、本町の人口は2040年には963人、2050年には現在の約半数の766人まで減少することが予測されている。

人口推移を年少人口（0-14歳）、生産年齢人口（15-64歳）、老年人口（65歳以上）の3区分に分けて見ると、1970年代以降は、年少人口と生産年齢人口は一貫して減少している。就職などを理由とした転出による生産年齢人口の減少と、それに伴って移動する年少人口の減少等が重なり影響したものと考えられる。一方、65歳以上の老年人口は増加を続け、1990年には年少人口を上回った。2000年から2024年にかけて、年少人口は319人から125人、老年人口は596人から499人となっており、本町では「少子高齢化」が進んだことがうかがえる。生産年齢についても、同期間において、1,459人から627人となっており、本町では年少人口と生産年齢人口の減少が、総人口減少に大きく影響してきたことがわかる。

自然動態をみると、1998年以降概ね死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いている。2024年は出生数5人に対し、死亡数は25人となっており、20人の自然減となっている。合計特殊出生率の推移をみると、2003年から2007年におい

て 1.45 にまで下がったが、2018 年から 2022 年は 1.26 となっている。これは北海道の平均を上回ってはいるものの、人口置換水準である 2.07 を下回っている。

社会動態をみると、2002 年以降、転出者が転入者を上回る社会減の傾向が続き、2024 年には 16 人の社会減となっている。

これらのことは、地域の担い手不足や地域経済の衰退を予想させるものであり、町の存続において危機的な局面を迎えていることを示している。

これらの諸課題について放置することは地域再生に支障をきたすものであり、解決に向けては、一自治体だけではなく、国や北海道、さらには周辺市町村との連携はもちろん、住民、企業、団体などあらゆる主体が問題意識を共有しながら、乳幼児から働く世代、高齢者まで、すべてのライフステージにおける施策を着実に実行し、人口減少社会に対応した持続可能な地域を目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- 基本目標 1 「健やかで安心な暮らしを実感できるまち」
- 基本目標 2 「活力ある経済と賑わいを実感できるまち」
- 基本目標 3 「自然と調和した安全な環境を実感できるまち」
- 基本目標 4 「豊かな文化と人の育みを実感できるまち」
- 基本目標 5 「協働と信頼を実感できるまち」

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	地域ケア会議の開催数	12回	12回	基本目標 1
ア	ふれあい昼食会の開催 数	7 回	6 回	基本目標 1
ア	「社会を明るくする運 動」の開催数	1 回	1 回	基本目標 1

ア	安心ネットワークの件数	1 件	1 件	基本目標 1
ア	ふれあい広場の開催数	1 回	1 回	基本目標 1
ア	つつじの会の開催数	12回	12回	基本目標 1
ア	民生委員協議会・研修会の開催数	7 回	10回	基本目標 1
ア	第 9 期介護保険事業計画の策定	1 回/ 3 か年	1 回/ 3 か年	基本目標 1
ア	高齢者就労センター会員数	23人	40人	基本目標 1
ア	老人クラブ連合会活動の継続	5 年	5 年	基本目標 1
ア	定期予防接種率	100%	100%	基本目標 1
ア	ひとり親家庭等医療費助成件数	12人	10人	基本目標 1
ア	産後ケア件数	1人	12人	基本目標 1
ア	産前産後サポート件数	-	100人	基本目標 1
ア	すくすく健康相談件数	19人	30人	基本目標 1
ア	障がい福祉サービス給付件数	25人	40人	基本目標 1
ア	支援制度の周知回数	1 回	1 回	基本目標 1
ア	民生委員活動の対象世帯数	280世帯	200世帯	基本目標 1
ア	屋根防水改修件数	1 件	7 件	基本目標 1
ア	老朽住宅除去件数	0 件	3 件	基本目標 1
ア	空き家取得件数	3 件	10件	基本目標 1
ア	改修工事件数	9 件	15件	基本目標 1
ア	空き家バンク登録数	0 件	15件	基本目標 1
ア	再生可能エネルギー設	0 件	15件	基本目標 1

	備件数			
ア	経営審議会の開催数	0 回	1 回	基本目標 1
ア	設備更新件数	0 件	4 件	基本目標 1
ア	同排水管更新・中央監視 装置更新件数	1 地区	2 地区	基本目標 1
ア	維持管理委託件数	1 件	1 件	基本目標 1
ア	経営審議会開催数	0 回	1 回	基本目標 1
ア	農集施設の改修件数	0 施設	1 施設	基本目標 1
ア	排水設備工事補助件数	0 件	5 件	基本目標 1
ア	合併浄化槽設置件数	2 基	5 基	基本目標 1
ア	保守点検・清掃委託数	59基	66基	基本目標 1
ア	乳幼児健診受診率	100%	100%	基本目標 1
ア	がん検診受診率	20%	25%	基本目標 1
ア	地域ケア会議の開催数	12回	12回	基本目標 1
ア	地域医療支援室運営委 員会の開催数	1 回	1 回	基本目標 1
ア	特定検診受診率	61.8%	65%	基本目標 1
ア	国民健康保険加入者、後 期高齢者加入者への通 知の回数	1 回	1 回	基本目標 1
ア	避難訓練の実施回数	0 回	1 回	基本目標 1
ア	おしらせ君の安定的な 運用確認回数	12回	12回	基本目標 1
ア	小中学校での防災教室 の実施回数	2 回	1 回	基本目標 1
ア	各種点検作業の実施回 数	1 回	1 回	基本目標 1
ア	耐震率の向上件数	0 件	5 件	基本目標 1
ア	信号機・カーブミラー等	0 基	5 基	基本目標 1

	の設置数			
ア	交通安全教室等の開催数	2回	2回	基本目標1
ア	防犯灯の設置数	223基	220基	基本目標1
ア	防犯啓発用グッズ・チラシ等の配布回数	1回	3回	基本目標1
ア	高齢者宅訪問回数	1回	1回	基本目標1
ア	新入学期交通安全該当指導回数	1回	1回	基本目標1
イ	個別施設計画の見直し	1件	1件	基本目標2
イ	住宅に関する横断的会議組織の発足件数	—	1件	基本目標2
イ	高規格道路北部延伸に関する要望活動件数	5件	5件	基本目標2
イ	道路改良に関する要望活動件数	5件	5件	基本目標2
イ	歩道改良延長	0m	730m	基本目標2
イ	橋梁修繕件数	1橋	4橋	基本目標2
イ	道路改良延長	290m	2,576m	基本目標2
イ	高齢者への除雪支援率	67%	65%	基本目標2
イ	交流プラザの利用件数	92件	60件	基本目標2
イ	MaaS導入の検討会議の発足	—	1件	基本目標2
イ	公共交通に関する横断的会議組織の発足	—	1件	基本目標2
イ	住民バス利用者数	2,468人	3,108人	基本目標2
イ	おでかけハイヤー利用件数	3,338件	4,092件	基本目標2
イ	地域情報網の安定的な	1回	1回	基本目標2

	運用にむけた定期点検の実施			
イ	北はるか農協中川支所の各部門取扱計画達成率	100%	100%	基本目標 2
イ	環境負荷低減のクロスコンプライアンスに取り組む経営体の割合	-	90%	基本目標 2
イ	不法投棄された農業用プラスチックの確認件数	0 件	0 件	基本目標 2
イ	6 次産業化による新商品の数	0 個	1 個	基本目標 2
イ	60歳未満の離農戸数	0 戸	0 戸	基本目標 2
イ	新規就農者数	0 件	1 件	基本目標 2
イ	中山間及び多面的事業の参加対象経営体の参加率	100%	100%	基本目標 2
イ	女性農業委員数	0 人	1 人	基本目標 2
イ	新たに家族経営協定を締結した経営体数	0 経営体	1 経営体	基本目標 2
イ	天然林施業数	0 回	5 回	基本目標 2
イ	ストックヤード利用数	0 回	5 回	基本目標 2
イ	ICTプラットフォーム利用経営体数	3 経営体	3 経営体	基本目標 2
イ	木材生産量	526m ³	3, 300m ²	基本目標 2
イ	林業従事者数	7 人	16人	基本目標 2
イ	研究プロジェクト数	4 件	3 件	基本目標 2
イ	ものづくり産業従事者	6 人	10人	基本目標 2

	数			
イ	農林水産資源を原料とした特産品の開発品数	8品	12品	基本目標2
イ	秋味まつりにおけるさけのつかみ取り事業の開催数	2回	5回	基本目標2
イ	水辺の小さな自然再生事業の開催数	6回	10回	基本目標2
イ	新規開業者数	6件	15件	基本目標2
イ	事業継承者数	3件	5件	基本目標2
イ	ポンピラアクアリズイングの新築	—	1件	基本目標2
イ	道の駅なかがわの改修	—	1件	基本目標2
イ	民間宿泊施設の開業件数	—	3件	基本目標2
イ	北海道大学なかがわ研究林公認ガイドの人数	5人	15人	基本目標2
イ	農林水産資源を原料とした特産品の開発品数	8品	12品	基本目標2
イ	観光入込客数	93,527人	120,000人	基本目標2
イ	ナカガワファンクラブ会員数	1,117人	3,000人	基本目標2
イ	DMOの設立	—	1件	基本目標2
イ	農林水産資源を原料とした特産品の開発品数	8品	12品	基本目標2
イ	農林水産資源を原料とした特産品の開発品数	8品	12品	基本目標2
イ	ふるさと納税寄附額	9,067,000円	15,000,000円	基本目標2

イ	町外進出企業数	0 件	2 件	基本目標 2
イ	旧大永建設改修による 交流拠点化	—	1 件	基本目標 2
イ	有効求人倍率	1.92倍	2.0倍	基本目標 2
イ	人づくり研修利用数	4 件	15件	基本目標 2
イ	地域おこし協力隊件数	16件	25件	基本目標 2
イ	女性の地域おこし協力 隊割合	31%	50%	基本目標 2
イ	ちょっと暮らし体験利 用者数	77人	150人	基本目標 2
イ	シェアハウスの整備件 数	0 件	1 件	基本目標 2
イ	移住者数（協力隊含む）	28人	35人	基本目標 2
イ	旧大永建設交流拠点に おける交流会の参加者 数	—	15人	基本目標 2
イ	姉妹都市との交流件数	10回	10回	基本目標 2
イ	北海道大学中川研究林 公認ガイド人数	5 人	15人	基本目標 2
イ	インターンシップの受 け入れ人数	22人	15人	基本目標 2
イ	ADdress住宅件数	—	5 件	基本目標 2
ウ	町民対象の環境教育の 実施回数	8 回	15回	基本目標 3
ウ	ながわ植樹祭の開催 数	1回	5 回	基本目標 3
ウ	エゾシカのライトセン サス調査路線数	6 路線	6 路線	基本目標 3
ウ	保安林関係法令違反件	0 件	0 件	基本目標 3

	数			
ウ	森林環境教育プログラムの参加者数	23人	50人	基本目標 3
ウ	登山道または遊歩道の開設数	0 件	2 件	基本目標 3
ウ	ゼロカーボン推進計画の策定	－	1 件	基本目標 3
ウ	公共施設への再生可能エネルギー設備導入件数	0 件	3 件	基本目標 3
ウ	民間住宅等への再生可能エネルギー設備導入件数	0 件	5 件	基本目標 3
ウ	ごみのお知らせ発行数	2 回	2 回	基本目標 3
ウ	公用車のハイブリット化の割合	9%	50%	基本目標 3
ウ	河川の汚染防止の啓発回数	0 件	5 回	基本目標 3
ウ	適切な飼養衛生管理が行われている農家の割合	100%	100%	基本目標 3
ウ	不法投棄監視パトロールの回数	0 回	2 回	基本目標 3
ウ	空き家除去数	1 件	5 件	基本目標 3
ウ	公共施設の木質化	0 件	1 件	基本目標 3
ウ	公園活用計画の策定	－	1 件	基本目標 3
ウ	公園への遊具の導入件数	－	1 件	基本目標 3
ウ	家庭菜園教室の開催数	3 回	5 回	基本目標 3

エ	コーディネーション トレーニングや軽スポ ーツ等を通じた、健康づ くりの機会の回数	3回	3回	基本目標 4
エ	多世代でのスポーツレ クリエーション・文化芸 術活動の開催数	3回	3回	基本目標 4
エ	トレーニングセンター 及びちやいむアリーナ のあり方の検討会の開 催数	2回	2回	基本目標 4
エ	ニュースポーツ体験会 の実施・スポーツ体験月 間の設定回数	0回	2回	基本目標 4
エ	中川町公認アシスタン トコーチ・サポーター養 成講習会の実施回数	1回	1回	基本目標 4
エ	小学生中心の運動能力 向上プログラムの実施 回数	0回	15回	基本目標 4
エ	婦人会・デイサービスセ ンターでの介護予防・機 能回復運動等の実施回 数	12回	12回	基本目標 4
エ	生涯学習センター利用 団体数	1,500団 体	7,500団体	基本目標 4
エ	図書貸出冊数	14,000冊	70,000冊	基本目標 4
エ	VRエコミュージアム及 びサテライト整備数	3件	15件	基本目標 4

エ	地域財産を利用した事業数	3 件	15件	基本目標 4
エ	地域財産普及事業の実施回数	1 回	5 回	基本目標 4
エ	大学等との共同研究、資料収集、普及事業の実施回数	2 回	10回	基本目標 4
エ	普及事業数	1 回	5 件	基本目標 4
エ	生涯学習団体支援数	4 件	20件	基本目標 4
エ	地域講師人数	4 人	10人	基本目標 4
エ	生涯学習団体支援数	4 件	20件	基本目標 4
エ	地域財産の保存・修理件数	3 件	15件	基本目標 4
エ	都市部及び同様の地域特性（化石、森林等）との相互交流回数	1 件	5 件	基本目標 4
エ	投稿型マップへの投稿数	0 件	100件	基本目標 4
エ	地域財産の町文化財指定件数	1 件	25件	基本目標 4
エ	体験研修団体数	4 団体	20団体	基本目標 4
エ	現地スクーリング及びGIGAスクール端末に対応したデジタルコンテンツの作成数	1 件	5 件	基本目標 4
エ	寄贈資料の受け入れ件数	1 件	5 件	基本目標 4
エ	エコミュージアムセンサーHP閲覧数	—	1,500件	基本目標 4

エ	生涯学習センター施設 利用者	20,000人	100,000人	基本目標 4
エ	ジュニアリーダーコー ス参加者	0 人	6 人	基本目標 4
エ	社会教育主事資格者数	3 人	3 人	基本目標 4
エ	環境教育の実施回数	5 回	5 回	基本目標 4
エ	町費負担教員の配置に よる単式学級の割合	100%	100%	基本目標 4
エ	全国学力・学習状況調査 においてすべての教 科及び観点において全 国平均を上回るポイン ト数	0 ポイン ト	5 ポイント	基本目標 4
エ	1 人 1 台端末を利用し た家庭学習の年間実施 日数	124日	150日	基本目標 4
エ	子ども弁当の年間実施 回数	20回	40回	基本目標 4
エ	世田谷区立松沢小学校 との交流学習の年間実 施回数	1 回	1 回	基本目標 4
エ	長野県中川村立中川中 学校との交流事業の年 間実施回数	2 回	2 回	基本目標 4
エ	運動部活動におけるコ ーディネーショント レーニングの年間実施 回数	12回	12回	基本目標 4
エ	全国体力・運動能力、運	0 項目	3 項目	基本目標 4

	動習慣等調査において全道平均を上回る項目数			
エ	中川中学校卒業生の高 等学校への進学率	99%	100%	基本目標 4
エ	中学生のなかがわ塾への入塾率	88%	100%	基本目標 4
エ	生涯学習団体等の人材 を活用したふるさと学 習の開催事業数	1 事業	4 事業	基本目標 4
エ	利用者会議の開催数	1 回	5 回	基本目標 4
エ	文化祭応募団体数	60件	60件	基本目標 4
エ	ポンピラ塾の開催数	60回	60回	基本目標 4
エ	社会教育団体への補助 件数	20件	20件	基本目標 4
エ	児童参加者数	0 件	40件	基本目標 4
オ	各種委員会への若者・女 性の構成率	25%	50%	基本目標 5
オ	町内会・自治会への支援 件数	5 件	5 件	基本目標 5
オ	人づくり研修利用数	4 件	15件	基本目標 5
オ	異業種交流への支援件 数	2 件	5 件	基本目標 5
オ	公式SNSの投稿数	—	120件	基本目標 5
オ	ホームページ閲覧者数	39,000人	55,500人	基本目標 5
オ	住民懇親会の開催数	6 回	5 回	基本目標 5
オ	業務上における目標の 設定	1 回	1 回	基本目標 5
オ	適切な管理を検証する	1 回	1 回	基本目標 5

	ための監査・点検			
オ	研修受講者数	36人	52人	基本目標 5
オ	実質公債費率	13.8%	12%	基本目標 5
オ	経常経費比率	92.3%	85%	基本目標 5
オ	遊休財産の処分件数	0 件	1 件	基本目標 5
オ	財政力指数	0.11	0.15	基本目標 5
オ	自転車活用推進計画の 策定	—	1 件	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2 のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期中川町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 健やかで安心な暮らしを実感できるまちづくり推進事業

イ 活力ある経済と賑わいを実感できるまちづくり推進事業

ウ 自然と調和した安全な環境を実感できるまちづくり推進事業

エ 豊かな文化と人の育みを実感できるまちづくり推進事業

オ 協働と信頼を実感できるまちづくり推進事業

② 事業の内容

ア 健やかで安心な暮らしを実感できるまちづくり推進事業

地域社会の中で子どもから高齢者までが活動しやすい環境づくりや、
子どもを安心して産み、健やかに育てることができる環境を整備し、地
域ぐるみですべての家庭が安心な生活のできる環境の推進を図る。

【具体的な事例】

- ・ 保育料、医療費、出産の支援
- ・ 放課後児童クラブの充実
- ・ 高齢者のまちづくり活動への参画
- ・ 行政と町民をつなぐ地域災害情報通信システムの整備 等

イ 活力ある経済と賑わいを実感できるまちづくり推進事業

国や道の関連政策等の環境変化に対応し、民間と協働しながら、時代のニーズに即した農業経営や展開の強化に努め、豊富な森林資源を活用した持続的な林業経営、就労者の高齢化や地域産業の担い手不足に対する支援や若者や女性に対する雇用環境の整備、地域資源を利用して特産品を開発・販売する商工業など、連携・協働・高付加価値化を支援し、産業の振興と新たな雇用創出の推進を図る。

【具体的な事例】

- ・ 農業経営を担う人材の確保、定着
- ・ 町産材のブランド化などによる木材の高付加価値化
- ・ 水産資源の生態調査の実施
- ・ 商工業の新規開業や事業承継支援 等

ウ 自然と調和した安全な環境を実感できるまちづくり推進事業

北の大河「天塩川」、北海道大学中川研究林、白亜紀の地層などの自然資源など豊かな自然に取り囲まれた中川町で、各年代が環境教育等の実施を通じ、自然環境に対する正しい理解を進めるとともに、町民や来町者への環境衛生、美化意識への啓発、美しい風景を実感できる景観形成の推進を図る。

【具体的な事例】

- ・ 再生可能な自然エネルギーの活用に向けた調査、研究
- ・ 地域や学校に対するリサイクルの啓発と活動の推進
- ・ ごみの不法投棄防止
- ・ 自然との調和と景観に配慮した土地利用の促進 等

エ 豊かな文化と人の育みを実感できるまちづくり推進事業

地域の文化を広めるため、エコミュージアムセンターを情報発信の拠点及び学びと交流の場と位置づけ、文化の創出、魅力の発信や伝承を推進していくとともに、地域全体で幼児から高齢者まで異世代間交流が盛んに行われるよう体制を整え、学校・家庭・社会教育の充実を進め、生涯において学び育める環境や指導体制の整備の推進を図る。

【具体的な事例】

- ・ 中川文化を中心とした生涯学習活動の推進
- ・ 町外への発信及び次世代へ伝承したい場所や景観（記念物）、民俗資料及び有形・無形文化財の発掘調査
- ・ 指導者育成の支援
- ・ 地域教育力を活かした学力向上事業の実施 等

オ 協働と信頼を実感できるまちづくり推進事業

町民と行政がまちづくりについて共通の目的を実現するため、町公式ホームページ、広報誌、ＩＰ告知端末など既存の情報発信端末に加え、SNS の運用を開始し情報交換ができる場づくりを行い、多様化・高度化する町民ニーズに応えられるよう効率的な行政運営を進め、町民参画の行政の推進を図る。

【具体的な事例】

- ・ 地域課題に応じたまちづくり講座の開講
- ・ 町民と行政、町民相互の情報の共有ができる広報づくり
- ・ 窓口サービスの改善
- ・ ふるさと納税の拡大に向けた取り組み 等

※なお、詳細は、第３期中川町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ））

４の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

80,000 千円（2025 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（ＰＤＣＡサイクル）

毎年度 9 月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組み方針を決定する。検証後速やかに中川町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2030 年 3 月 31 日まで